



内閣府沖縄総合事務局
局長 竹澤 正明

平成二十二年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中は、沖縄総合事務局の各種取組に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年からの日本経済の状況を顧



全国商工会連合
会長 石澤 義文

新年明けましておめでとうございます。平成二十二年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、昨年、我が国の経済は、一面においては最悪期を脱し、持ち直しの動きも出てきたといわれましたが、一昨年来の世界的不況の影響から、地方の中小・

みますと、世界的な金融危機の深刻化で前半から景気が急速に悪化し、雇用情勢の問題化や、後半には急激な円高が見られるなど、厳しさが続いた一年でありました。

このような状況の中、政府は昨年十二月に、「雇用」・「環境」・「景気」を柱とする「明日の安心と成長のための緊急経済対策」を取りまとめ、現下の経済・雇用情勢への「緊急対応」及び「成長戦略への布石」とすることとしております。その中では特に、中小・小規模企業等に対する金融機関からの円滑な資金供給を促進するため、景気対応緊急保証の創設

小規模企業を取り巻く経営環境は、引き続き極めて厳しい状況のまま推移し、現在に至っております。

こうしたことから、昨年十一月十九日に東京で開催した第四十九回商工会全国大会では、政府・与党等に、一刻も早い景気回復に向けた対応の強化を求めるとともに、私たち商工会としても、会員への巡回訪問によるきめ細かな経営支援、地域産品を活用した産業振興などに全力で取り組み、会員の皆様の経営や地域経済の発展のために、新たな活路を切り開いていくことを決議したところであります。

一方で、都市と地方、中心市街地と周辺部の地域間格差も近年、拡大傾向にあ

など景気回復を目指すための取組を進めております。

一方、沖縄経済については、これに加えて新型インフルエンザや円高の影響など、沖縄観光に逆風となる事態に直面し、これは今後も影響が懸念されるところであります。

沖縄総合事務局におきましては、このたび取りまとめられた緊急経済対策の実行はもとより、沖縄地域経済の活性化を図り、自立的発展を遂げるため、異業種の知恵・ノウハウ・経営力を結集する農工商連携や、地域資源活用プログラム、新連携の三事業の活用促進をはじめ、中

り、過疎化・高齢化が進む地域では、公共交通機関など身近な生活インフラや、地域の祭り・防犯活動といった自治活動に支障が生じてくることも懸念されます。このようななかで、商工会は、防犯・防災や、お年寄りへの宅配といった生活支援など、コミュニティ維持活動にも、これまで以上に積極的に取り組み、「地域を支える商工会」として、ますます頼りにされる存在となつていかななくてはなりません。

私は昨年六月に全国連合会長に就任いたしました。以来、巡回訪問による経営支援の効果的な進め方の検討や、商工会の活動強化に向けた商工会・県連・全国連の連携強化に重点的に取り組んで参り

小・小規模事業者のための各種施策に全力を尽くしてまいります。

沖縄県商工会連合会におかれましては、今後とも社会情勢に対応した、会員の皆様の新たな取組や課題解決にきめ細かく対応されるとともに、地域経済の発展に御尽力いただくことを期待しております。

結びになりましたが、本年が、沖縄県商工会連合会及び会員の皆様にとつて、実り多い飛躍の年となりますよう祈念いたします。新年のあいさつといたします。

平成二十二年 元旦

ました。

今年、商工会が法制化されて五十周年の節目の年にあたりますが、現在、商工会が取り組んでいる様々な改革の成果をあらせ、新たな時代に向けて、会員や地域の方々から今まで以上に支持される組織づくりを目指して参りたいと思っております。

皆様の一層の支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

平成二十二年 元旦